

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム コスモス今川作成日: 平成 29 年 12 月 25 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議の参加委員が固定化し、会議の内容が画一化傾向にあるので、参加委員を増員し、地域全体の課題を取り上げて、地域社会と協力し、問題解決に向けて対応していく。	複数の民生委員や薬剤師、駐在所の警察官、地域の有識者、知見者に参加を募り、高齢者の問題や、地域で困っている課題等を話し合い、参加委員が協力して解決に向けて取り組む等、地域貢献に繋がる会議の運営を目指していく。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	勤務年数が長い職員が多く、職員の高齢化が進んでいるので、管理者が中心となり、職員の介護技術や知識を向上させるための取り組みを行い、働きやすい職場環境を整えていく。	職員の介護に対する考えや意欲を考慮して、経験や習熟度に合わせて外部の研修会に派遣し、職員の介護力の向上と意識の高揚を図り、資格取得のためのバックアップ体制を整え、職員のやる気に繋がる就労環境を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。